

# 小さな声が街を変える 第23号 2016年春

## 武井誠活動報告

武井誠を励ます会 〒350-0253 坂戸市北大塚 40 ☎289-2527  
<http://www.takei-makoto.org/> E-mail [takei@sakado-gr.org](mailto:takei@sakado-gr.org)



2期8年間の議員経験を生きか  
し、市民みなさまと共にさらに全  
力を尽くします。 武井 誠

全ての市民があたたかい心で  
暮らせる坂戸市、安心して子ども  
を産み、育て、働き、暮らし、老  
いることのできる坂戸市をめざ  
して、今こそ力をあわせ、命の大  
切にされるまちづくりを進めま  
しょう。

私たちは、大きな時代の転換点  
を生きています。子や孫たちに人  
権の尊重される平和な未来を残  
しましょう。

武井誠は、2011年の東日本  
大震災、とりわけ福島原発事故の  
教訓を市民みなさまと共に学び  
市議会内外で努力をしてきまし  
た。

## 私の決意

## 坂戸の未来創造 キーワードは「つなぐ」

### 震災と高齢社会を生きぬくために

坂戸市が、今すぐに取り組むべき課題を4つあげるとすれば、私は①30年以内に70%の確率で起こると言われる大地震等の災害②急速に進む高齢化③一斉に進む公共施設の老朽化④貧困層の拡大、であると考えます。

課題解決のため、国に対して「脱原発への政策転換」「防衛費削減と福祉予算充実」「消費税減税」「戦争法廃案」などを求めながら、市においても限られた予算の枠内で、展望を拓かねばなりません。

### 機能をつなぐ、近隣市町をつなぐ

施設の統廃合は慎重に行うべきですが、避けられません。ならば発想を転換して、福祉、保育、教育、環境、防災、産業振興などに相

乗効果を持つような多機能施設、事業が必要と  
考え、具体的提言をしてきました。

また、すでに火葬場についての静苑組合加入  
や、医療の地域拠点づくりが始まっていますが、  
他事業でも近隣市町・団体がそれぞれの独自性  
を尊重しつつ協力し、施設・事業の共有化・広  
域化に取り組むことを提案していきます。

### 市民と市民をつなぎ、共に生きる

8年間の議員生活や市民活動で得た最大の財  
産は、素晴らしい知恵と力と意欲を持たれた、  
たくさんの市民の方たちとの出会いでした。

あらゆる世代の、様々な分野で活躍される市  
民みなさまや市職員が会うことによって、そ  
こに「化学変化」が起こる予感がします。

キーワードは「つなぐ」。接着剤、潤滑剤とし  
て、武井誠は奮闘します。

## 定数20に24人立候補予定

### 市議選 4月10日告示 17日投開票

3月21日現在、市議会議員選挙には24人が立候補予定。  
内訳は現職15、新人8、元職1、激戦が予想されます。  
同日市長選挙には現職を含む3人が立候補予定です。

## 無料法律年金相談

開設9年、毎回多くの市民みなさまのご利用をいただいています。

今回は、4月23日(土)13時  
会場は、坂戸市文化施設オルモ  
当番は、田中重仁弁護士です。

# 来年度予算は 292 億 2700 万円

16日、坂戸市議会3月定例会は、執行部の提案した全議案を可決して閉会しました。

16年度予算は292億2700万円、前年度比0.6%の微減ですが、昨年度が10.2%の増でしたから2年連続しての大型予算となりました。

人件費は減少しましたが扶助費、公債費は増加、この傾向は今後も続きます。

一方、基金残高(市の貯金)は42億3900万円です。基金を減らして福祉に使うべきとの議論もありましたが、私はむしろアベノミクス破たんの気配を感じ、今後の景気動向が気になります。

## 新規事業に注目すると

中学校の自転車保険一括加入費補助、道路照明灯等点検調査、北坂戸駅西口公衆便所整備、防災マップなどの作成と避難行動要支援者支援、市制施行40周年記念事業(イメージキャラクター作成、記念式典、坂戸のまつり、マラソン講習会、NHKのど自慢開催)、古希野球大会、超重症心身障がい児レスパイトケア、成人検診に胃内視鏡検査追加、予防接種にB型肝炎を追加、障がい児介護用自動車改造費一部助成、子育て短期支援、不妊治療費助成、空き家対策、多子世帯学校給食費軽減、公園の遊具で健康増進などが新たな事業として加わりました。

特に、少子化対策として第3子以降の学校給食費を全額援助する事業2588万5000円が計上されたことは注目されます。

## 本会議のインターネット中継開始

市民に開かれた議会をめざす議会改革の一環として、来年度予算に本会議のインターネット中継事業費340万5000円が計上されています。初当選直後に武井誠の行った提案が、8年越しでついに実現しました。

インターネットの普及は、加速度的に進んでいます。

武井誠は9年間、ホームページをほぼ毎日更新し、活動をお知らせしてきました(右写真)。中継開始時にはこちらからリンクを張る予定です。「武井誠」と入力し、**検索**をクリックしてください。

## 子どもの貧困対策を

武井誠は、多子世帯学校給食費軽減事業は、給食費無償化の第一歩として歓迎し、賛成しました。しかし、給食費無償化は少子化対策ではなく、子どもの貧困対策として行うべきです。

第一に、現行の要保護、準要保護家庭支援のネットにかからない子どもたちの存在が心配だからです。第二に(婚活支援もそうですが)そもそも結婚、出産といった、ある意味もともとプライベートなことを、行政主導で行っているのかという疑問を持っています。いずれにしても全児童生徒給食費無償化を目指します。

## 武井誠の一般質問

今回は①小中学生の「ネット依存」「ネットいじめ」②全国の自治体で本格実施される人事評価制度と職員の労働安全衛生の2項目について質問しました。

坂戸市内中学生の3分の2が携帯電話を所持し、そのうち8割以上がスマートフォンです。1日3~4時間使用している中学生は13.2%、今年度は「LINE(ライン)」によるいじめが3件あったとのことでした。

便利さと恐さを併せ持ったインターネットをいかに使いこなしていくか、教育委員会と、つっこんだ議論ができました。

